

ですから、残された任期の半年間もその立場に立ち、国土交通委員会の中で、バスやタクシーが安全で安心して利用できる業界になるよう、そしてそこで働く乗務員さんの給料が上がつていくよう努力をして参ります。

今年の8月からその先6年も、しっかりと職場と国政が一体となつた取り組みができるように頑張りたいと思っておりますので、田城郁と共に闘つてください」と、力強いお言葉を頂ききました。



【全自交】
高橋 学 書記次長

全自交の高橋学書記次長の挨拶では、「特定地域の指定問題について、全自交の仲間の青森では裁

判を起こし、労働条件の改善のため現在も闘っています。ライドシェアや初乗り短縮問題についても力を合わせて阻止していくましょう」と述べました。



【全自交東京地連】
後藤 修美 副執行委員長

統一全自交東京地連・後藤修美副執行委員長の挨拶では、「ライドシェアの

問題、初乗り距離の短縮など、タクシーは大変な時代に入りました。その中で、サンフランシスコのイエローイヤブが更正法を出しました。これはウーバー・ヤリフトの影響だと考えられます。また、原油の値下がりでガソリンが安くなることは良い事ですが、バーレルが下がるとコスト割れし、益々日本の経済が落ち込んでいく中で、我々労働者は団結し、頑張っていかなければなりません。共に頑張りましょう」と述べました。

日交グループ連絡協議会事務局長の星元陽氏の挨拶では、「労働法制によって影響を受けるのがタクシーやタクシーバス業界です。労働組合が力を合わせて、田城郁議員のように私達のために働いてくれる議員を応援し、政治から変えていかなければ



星 元陽 氏
常任中央執行委員

ならないことが多々あります。今は参議院選挙がありま



【東日本旅客鉄道労働組合】
吉川英一 中央執行委員・吉川中央執行委員長

JR東日本労組の吉川英一中央執行委員長は、田城郁議員の出身単組の代表として田城議員の応援



【日交労赤羽支部】
曾我 央 支部長

い」と述べました。他にも、日交労赤羽支部の曾我央支部長・ライオンズ交通労組の大松啓治執行委員長・源田英輝書記長・東洋交通からは



【東洋交通(株)】
伊藤 邦 取締役

よりご挨拶を頂きました。仲取締役・伊藤部長より、ご挨拶を頂きました。



【ライオンズ交通労組】
伊藤 邦

（左）源田書記長・（右）大松啓治執行委員長

筒井副執行委員長が乾杯の音頭をとり、会食となりました。

全自交岩手地本の森委員長より、お祝いに振る舞いました。

毎年恒例のbingo大会は大変な盛り上がりとなり、三本締めで新年会は閉会となりました。



年始のティッシュ配布

「協力ありがとうございました」

2016年1月4日から約1週間近く、タクシーをご利用頂いたお客様に向けて「『白タク合法化反対』『初乗り距離短縮運賃反対』を訴え、「マナー・地理知識・運転技能」の改善を行い、安全・快適な輸送に向け努力を続けていく」という内容のポケットティッシュを4200個配布して頂きました。

今後も、より多くのお客様にご理解・ご協力を頂けるよう、運動を強化して参りますので、引き続き組合員の皆さんもご協力を願います。

第1回 全自交東京地連 宣伝行動

2015年12月15日（火）9時30分より第1回全自交東京地連宣伝行動を行いました。東洋交通労組からは菊池委員長をはじめ執行部6名、日交労から8名、羽田交通労組から1名が参加しました。同日10時より、市ヶ谷のアルカディアにて第3回地域協議会が開催され、改正タクシー適正化新法施行後の適正車両数の見直しを反映した地域計画の改正案の承認や、これまでに開催した「適正化分科会」「活性化分科会」の活動報告が行われました。溝上東京地連委員長は「労働者の犠牲による活性化に断固反対!」の意見を述べました。それに伴い、地域協議会に出席する関係者や、アルカディア・市ヶ谷駅周辺の通行人に向けて、ビラを150枚・ポケットティッシュ500個を配付しました。

規制緩和の一環として自家用車によるライドシェア・白タク配車を合法化しようとしていることについて、「安全・快適な公共交通機関を破壊することは断固反対!」を訴え、賃金を引き下げ、安全を崩壊させる「初乗り距離短縮運賃断固反対!」への協力を呼び掛けました。

